

目次 もくじ

- 02 第9回金ヶ崎町民劇場
- 06 まちの話題
- 08 MONTHLY TOPICS
- 10 広報暮らしのカレンダー
- 12 NEWS FILE
- 16 Information/戸籍の窓
- 18 介護予防と健康一言コラム/放射能測定結果
- 19 かねがさきの音色/バイバイ!!むし歯菌
- 20 Face —鈴木心奏さん—  
 —宮館望花さん—  
 —吉田凜心さん—

《11月号の表紙》

第9回金ヶ崎町民劇場  
 「万博狂想曲～おらだちの進歩と調和～」



第9回金ヶ崎町民劇場

万博狂想曲

～おらだちの進歩と調和～



1



2

1 みんなで準備した万博会場にトロッコ「ゆかり号」が迫ってくるのにみんなが驚いているシーン 2 金ヶ崎万博のテーマが「おらだちの進歩と調和」に賛成する勝男。仲間たちは妻が別の男と握手したことに怒って中に入ったと勘違いしている。



3



4

3 芸術家明日原が東京から来たという嘘が判明し問いただされるシーン  
 4 金ヶ崎万博会場で「月の石」を見ることができ喜ぶ浩太(中央)



5

5 弟浩太が病気と知り何か浩太のためにできないか意見を出し合う郁子(左)と茂吉(右) 6 金ヶ崎万博の Monument アスパラ塔が完成し「芸術は爆発だ!」と叫ぶ明日原



6

町民劇場公演

第9回金ヶ崎町民劇場「万博狂想曲～おらだちの進歩と調和～」は10月29日、中央生涯教育センターで上演されました。会場は、雨模様の中でも多くの観客が訪れ、出演者の熱のこもった演技に魅了されました。

あらすじ

舞台は昭和45年。日本人のだれもが科学の進歩と経済の発展が続くことを信じて疑わなかったころ。そんな時代を象徴するかのようには幕を開けた大阪万博。史上最多、77の国と地域が参加し、「月の石」「太陽の塔」といった目玉展示には連日長蛇の列。

その様子をテレビで知った少年浩太は万博に行きたいと両親に願うも家計の事情がそれを許さない。浩太が重い病気であることを知った姉郁子は、弟のために何かできないか悩み、ある秘策を思いついた。それは何と、地元金ヶ崎で万博を開催するという壮大で突拍子もないものだった。

計画を実現するため仲間集めに奔走する郁子。しかし集まったのはひと癖もふた癖もある町のはみだし者ばかり。相次ぐハプニングを乗り越えた先に待ち受ける展開はいかに。

町劇史上初の脚本共同制作作品は、異質なもの同士の不調和と調和をテーマに描く抜群コメディ。